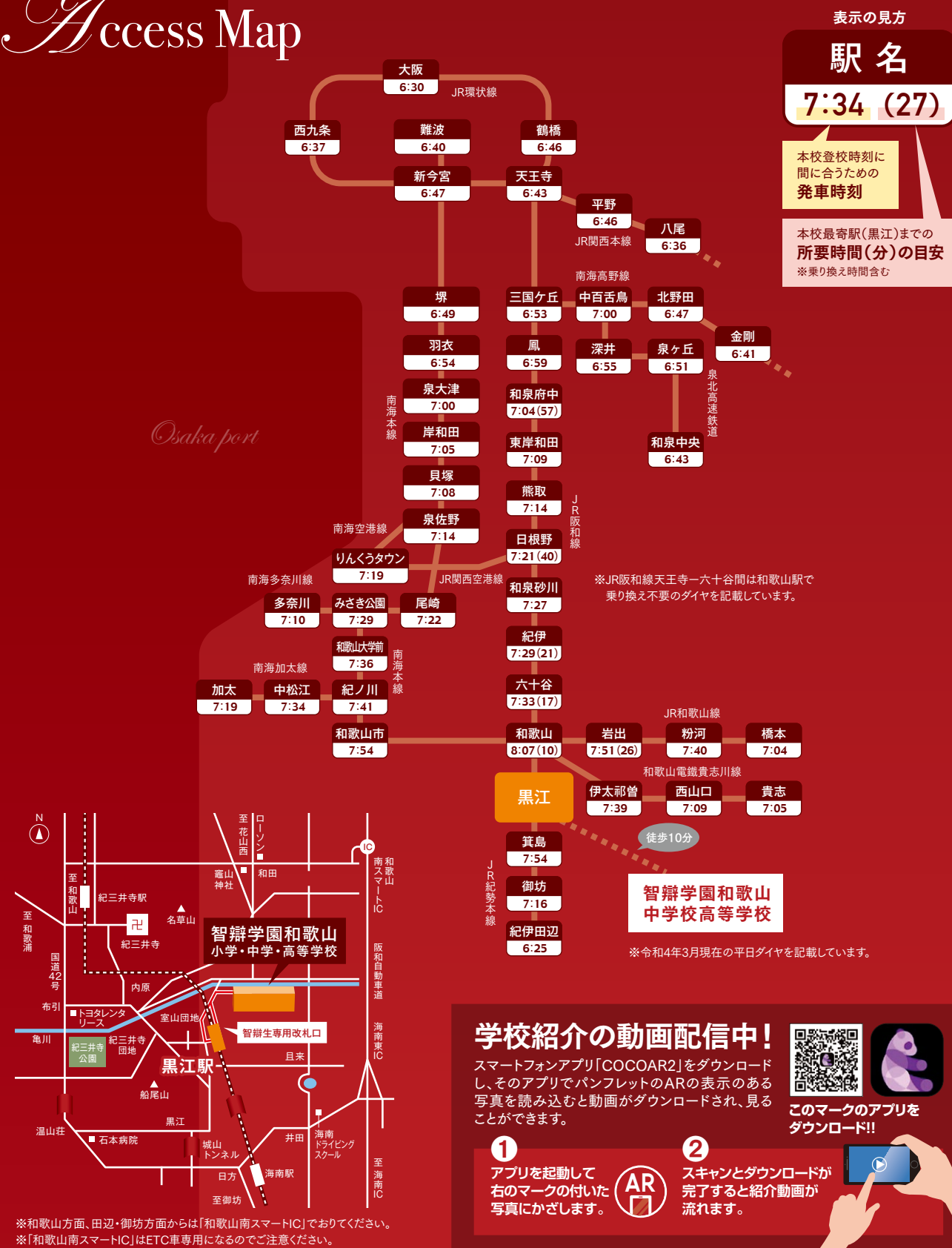


Access Map



智辯学園和歌山 中学校 高等学校

Chiben Gakuen Wakayama junior & senior high school

2023

智辯学園和歌山中学校・高等学校

併設校 智辯学園和歌山小学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-2811 Fax.073-479-1190
<https://www.chiben.ac.jp/wakayama>

学校
HP



感謝の心と強い絆 そして未来へ

ここで挑む、自分を超える。

2018年に創立40年を迎え、今後もさらなる挑戦を
続けていく智辯学園和歌山中学校・高等学校。
教育を通じて心身ともに成長できる環境の中、
生徒一人ひとりが、自分自身の可能性や目標に挑戦しています。

愛のある教育

誠実 明朗
Sincerity Cheerfulness

智辯学園が目標とする「人」は

1. 明朗で知性溢れる人
2. 不屈の精神と使命感を持つ人
3. 自己を確立しつつも社会性豊かな人
4. この世に生をうけた幸福を知る人



学園の誕生 (和歌山県の実情により開校)

智辯学園和歌山中学校・高等学校は、和歌山県当局の強い要請と藤田照清大僧正の私学教育に懸ける熱意とが醸成し、昭和53年4月に開校しました。設立母体は智辯学園中学校・高等学校であり、「誠実・明朗」を教育目標とし、持てる能力の最大開発と、人や物を大切にする心、感謝の心、使命感に燃える人間の育成をめざしています。和歌山県が本学園を招致した所以は、本学園玄関壁の碑文「知事招請の辞」に明記されています。本学園は、設立母体の建学の精神を継承し、さらに大きな前進と発展を使命とします。



理事長
藤田 清司

我が子のように 生徒を愛する教育

生徒を我が子のように思いやり、愛情を持って接する、“愛のある教育”が教育の原点であると考えます。この原点に常に立ち返り、生徒一人ひとりを献身的に支え、“誠実・明朗”で心豊かな人物をはぐくむことが本学園の使命です。四十余年前、和歌山の地に教育の場を開いて以来、こうした強い想いは変わることなく、具体的な成果をあげています。確かな実績のもとに、今後も教育に取り組み、生徒全員のさらなる能力向上を叶えたいと願っています。



中学校長
鳥居 裕史

人の環境に 恵まれた学園

本校は、真面目にコツコツ努力する生徒が正当に評価される環境を整えていくことを大事にしています。高い目的意識をもち、多様な個性を備えた生徒たちにとって、自らの目標に向かって懸命に力を注いでいける場があることが、深い学びへと至り、よりよい成長へと結びつくために必要です。ご家庭の愛情を一身に受けながら、自ら居心地のいい空間をつくっていただける生徒たちが集い、お互いを高め合う学び舎。それが智辯学園和歌山中学校・高等学校です。



高等学校長
宮口 祐司

自己の可能性に 挑戦する生徒

夢に向かって真摯に努力する生徒の瞳は輝いています。教師として何より嬉しいのはそんな姿を見ることです。目的を一にする仲間と切磋琢磨して過ごす青春のひとつが若者には必要です。孟母三遷の教えの通り、環境が人間を育てます。本校では将来を嘱望される多くの諸君が自己の可能性に挑戦を続けています。

沿革

昭和53年	1月	第一回入学試験実施 (於和歌山大学教育学部校舎)	昭和60年	4月	編入コース設置
	4月	第一回入学式(於海南市立体育館) 中学82名、高校146名入学	昭和62年	4月	国際コース設置
	11月	校舎第二期工事竣工	昭和63年	1月	藤田照清第二代理事長就任、校長兼務
昭和54年	5月	体育館竣工		10月	創立十周年記念式典並建学記念講堂竣工式
	6月	竣工記念式典	平成元年	11月	野球専用グラウンド竣工
昭和56年	2月	高等学校第一回卒業式	平成4年	4月	新制服制定
昭和57年	2月	校歌制定 (作詞 藤田照清校長 作曲 末吉保雄桐朋大学教授)	平成6年	4月	第66回選抜高等学校野球大会 初優勝
昭和59年	2月	6年一貫教育課程第一回卒業式	平成8年	4月	第68回選抜高等学校野球大会 準優勝
			平成9年	8月	第79回全国高校野球選手権大会 初優勝
			平成10年	4月	創立二十周年記念式典並記念図書館竣工式
			平成12年	4月	藤田清司第二代校長就任

平成12年	4月	第72回選抜高等学校野球大会 準優勝
	8月	第82回全国高校野球選手権大会 優勝
平成13年	4月	国際コースをINCに名称変更
平成14年	4月	智辯学園和歌山小学校、第一回入学式 80名入学
	8月	第84回全国高校野球選手権大会 準優勝
平成19年	5月	創立三十周年記念体育館改築
平成21年	12月	藤田清司第三代理事長就任、校長兼務
平成30年	4月	第90回選抜高等学校野球大会 準優勝
令和3年	8月	第103回全国高校野球選手権大会 優勝

学校法人 智辯学園



智辯学園中学校・高等学校
奈良県五條市野原中4-1-51
Tel.0747-22-3191



智辯学園和歌山中学校・高等学校
和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-1281



智辯学園和歌山小学校
和歌山県和歌山市冬野2066-1
Tel.073-479-1200



智辯学園奈良カレッジ 小学部・中学部・
高等学校部
奈良県香芝市田尻265
Tel.0745-79-1111

誠実明朗で知性あふれ将来各分野で活躍するリーダーの養成

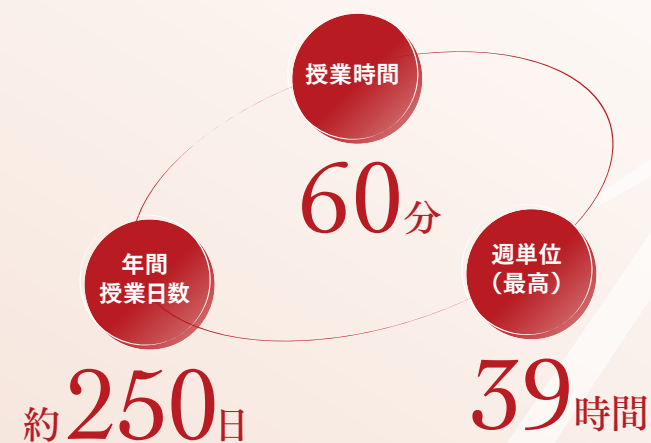


知力

目標達成のための
二本の柱

の徹底的訓練を期す

知力を磨くためには、知識を修得だけでなく、それらを発展的に活用する体系的な思考力を身につける必要があります。
本学園では1校時を60分とし、週単位時間数や年間授業日数も可能な限り確保。英語、数学、国語の基礎学力の修得に特に配慮。
また、週単位時間数を確保することにより、多様なカリキュラム編成を可能にしています。
さらに十分な時間をかけて授業をおこなうことで高度な内容にまで理解を深め、思考力・創造力を養います。
これにより、生徒が望みうる最高の大学進学の実現をめざします。



豊かな人間性

を育む

教育の目的は人格の完成をめざすことであるため、「心」の教育は大変重要です。
本学園では宗教的情操教育を基盤として“豊かな人間性を育む教育”を実践し、美しいもの、すぐれたものに接して感動する心豊かな人間の育成を図っています。
そのため、「宗教」を必修とし、履修を義務づけています。
そのほか、毎日の読経や月一回の「感謝祭」など、あらゆる機会をとらえ、自分自身を見つめ直します。

- 1 「宗教」の時間では、宗教的情操を養い、「人と心」の問題を研鑽する。
- 2 毎月1回「感謝祭」をおこない、四恩（父母の恩、衆生の恩、三宝の恩、天地の恩）に感謝を捧げ、今後の努力と精進を誓う。
- 3 毎朝始業前に読経し、心を静め、決意新たに1日の学校生活を開始する。
- 4 あらゆる機会、あらゆる生活の場で、「豊かな人間性」を育み、感謝と奉仕のできる人間をめざす。



我が子のように生徒を愛する教育

生 徒

保 護 者

教 職 員

三位一体

の教育で結束力を高める



本学園の教育は相互の信頼と扶助にもとづく努力と創造によって達成されるものと考えています。同じ志の下に集い、努力を惜しまず目標に挑戦する生徒と、本学園の教育理念に賛同し、我が子の成長を願い日々の教育実践を支える保護者、そしてその親の願いを叶えるべく、日々研鑽を積み、情熱をもって生徒に関わる教職員。三者の結束と連携が発揮されることで、本学園に求められるすべての希望と期待が充足されるものと確信しています。



アメリカ短期留学(高1)

国際的な教養と感性、国際平和をめざす強い意思は、これからの時代にますます重要になります。本学園では真の国際人としての成長をめざし、海外交流を重ねています。高校1年3月に「アメリカ・ワシントン」「オーストラリア・シドニー」の姉妹校へそれぞれ約20名の希望者を募り3週間の短期留学をおこないます。また同じく、高校1年7月に韓国・ソウルの姉妹校へ希望者を募って研修旅行をおこなうなど他国の同世代の若者との交流を通じて、世界平和の重要性の再認識と国際人としての資質を養います。



オーストラリア短期留学(高1)



韓国研修旅行

体験型学習を 通して自主性・協調性を養う (中・高6年一貫コース)



中学校では各学年でそれぞれ宿泊を伴う3泊4日程度の校外研修を実施しています。
中学1年では奈良県の曽爾高原(国立曽爾青少年自然の家)で林間学校をおこない、登山や野外炊飯などのプログラムに参加します。
中学2年では兵庫県の淡路島(国立淡路青少年交流の家)で臨海学校をおこない、カッター研修にチャレンジしたり、伝統文化に触れたりします。いずれも豊かな自然に親しみ、規律ある団体生活を通して、自主性や責任感、リーダーシップを養う貴重な機会です。
中学3年は修学旅行として、広島で平和学習をおこなうとともに、瀬戸内海沿岸を周遊し、それぞれの地域の歴史や文化を学びます。

中高6年一貫 コース

募集人員135名

**早期から大学入試を見据え
効率的なスケジュールで学ぶ。**

中学・高校の3・3制の分断システムから脱却し、中・高の学習内容を再編成することで、無用な足踏みや無理な疾走、無意味な重複を避けることができます。その結果、可能な部分をできるだけ進めたり、時間をかけるべきときはじっくり取り組んだりするなど、腰を据えての資質開発が可能となります。

**成長段階にふさわしい人間教育で
精神面を豊かに。**

思春期は精神的に繊細な時期。6年間を通して、一人ひとりに必要な安定した人間教育を可能とするのが6年一貫教育です。安定した環境で学ぶことは、成長段階にふさわしい人間教育につながり、精神面を豊かにする上で重要なことと考えます。



編入コース

募集人員45名

**豊富な授業時間※で高校課程2年間分を
学習し中高6年一貫コースと合流。**

中高6年一貫コースの学習進度が1年分先行していることから、編入コースの生徒は、2年間分の教科内容を学習します。ただし教科内容の精選と授業の効率化を図り、無理なく円滑に中高6年一貫コースの学習進度に合流できるように計画的なカリキュラムを編成しています。また入学前の春期補習や豊富な授業時間の確保など十分なサポート体制を取っています。

※本校は1年間で公立高校の約1.5倍の授業時間を確保しています。

**高校2年次から文系・理系に分かれ、
最終学年では演習中心で応用力を養う。**

編入コースでは高校1年次に進度補正したあと、中学5年生(高校2年生)で中高6年一貫コースの生徒と合流し、同時に文系・理系のクラス分けを実施します。2年次終了時点で高校の教育課程をすべて修了し、最終学年では大学入試に備えて演習を中心に取り組み、応用力の養成に専念します。



コース紹介

Course information

可能性を

最大限に引き出し、望みうる最高の大学をめざす。



小中高12年一貫 コース

募集人員80名

(併設校:智辯学園和歌山小学校)

**のびのびといきいきと
子供たちの夢を育てたい。**

1本の教育軸で結ぶ12年一貫教育だからこそできる真の心の教育と、しっかりとした基礎学力を総合的に身につけられます。これまで実践してきた6年一貫教育の実績に裏付けされた自信を基に、子供の能力と資質を最大限に伸ばす12年一貫教育を進めています。



スポーツコース

募集人員10名

**甲子園そしてさらに次のステージを
見据えて社会に貢献できる人材に。**

甲子園出場そして優勝を目標に掲げ、熱い情熱をもつ精鋭たちが集います。野球を引退した後も社会で貢献するために、基礎学力や人間力の養成に努めています。また積極的なボランティア活動や地域貢献をめざし、社会とのつながりを大切にしています。

コース編成

Course Design

可能性を最大限に引き出す、2－3－1システム。



AR
📱

小中高12年一貫コース

2クラス／80名

中高6年一貫コース

3クラス/135名

一期〈中学課程〉



基礎力養成をめざす

6カ年の前期にあたり、中学段階の基礎学力の養成、学習姿勢・学習方法の確立をめざし、総合的思考力の基礎作りとしての訓練をおこないます。

家庭学習を含めた、予習→授業→復習の学習サイクルという学園生活の基本を確立します。学年末には高野山合宿を実施しています。

中学1年時に
6年一貫コースへ全員合流

中学課程を修了し、さらに思考力養成のため、応用問題の演習をします。また、夏には貝塚合宿を実施しています。

二期〈中学・高校課程〉



高校課程を取り入れ、中学課程を拡張させることで、合理的で効率的な学習が可能となります。夏には希望者で東京大学見学を実施。大学進学がより身近な目標になります。



高校課程は演習によって理解を深めることが大切です。詳しく丁寧な授業に、ふんだんな演習を加えることで確かな実力を養います。

実力養成をめざす

この時期は心身ともに大きく成長する段階です。この時期に6カ年の主要部分である高校段階の基礎固めと実力の養成をめざします。

文系理系に分かれて、それぞれが必要な選択科目を履修します。効果的で深みのある学習により、応用力を養います。

高校2年時に
6年一貫コースへ全員合流

三期〈受験対策〉

応用力養成をめざす

6カ年の総まとめの時期として、総合的な実力の養成を図ります。また、多様化する大学の二次試験などを考慮し、各自の目的に合った合理的な学習と応用力の養成をめざします。

全科目、大学受験に向けての演習をおこないます。「夏期講習」「直前共通テスト対策」「二次対策」などで実戦力を身につけます。

望みうる最高の大学へ

週あたり授業時間数 [60分授業]

中高6年 一貫コース

中学校				高校					
	1年	2年	3年		1年	2年		3年	
						文	理	文※	理※
国語	6	6	6	国語	6	6	6	6	6
数学	6	6	6	数学	6	6	8	6	7
英語	6	7	6	英語	6	7	6	7	6
理科	5	5	3	理科	5	4	10	4	8
社会	3	3	5	社会	4	8	4	8	4
他	8	7	8	他	7	3	3	3	3
計	34	34	34	計	34	34	37	34	34

※小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科二次対策演習を追加し、受講できます。

編入コース

高校2年時に中高6年一貫コースへ合流

	1年	2年		3年	
		文	理	文※	理※
国語	7	6	6	6	6
数学	9	6	8	6	7
英語	8	7	6	7	6
理科	6	4	10	4	8
社会	3	8	4	8	4
他	6	4	4	3	3
計	39	35	38	34	34

※小論文対策、リスニング対策、自由英作文対策の授業に加え、文系では社会科二次対策演習を追加し、受講できます。

編入コース

1クラス/45名

高校からの課程に6年一貫コースのメリットを生かす

中学5年生で無理なく円滑に6年一貫コースに合流できるよう、計画的にカリキュラムを編成、教科内容の精選と授業の効率化を図っています。編入コース入学者には、入学前の3月末から補習をおこないます。

スポーツコース

1クラス/10名

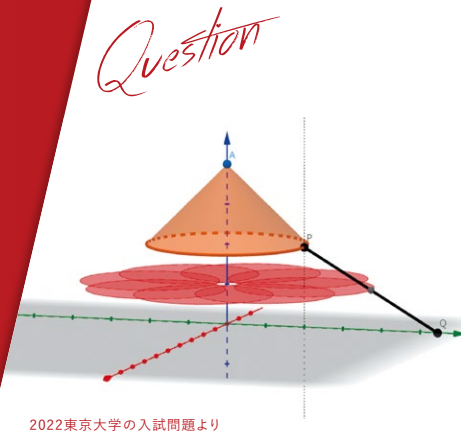


野球引退後の人生も見据えて、基礎学力や人間力の養成に努めています。日々の授業では、正しい学習姿勢、基礎学習の反復を大切に、大学進学後そして社会で通用する知性と教養を身につけることも目標に学習していきます。

プロ野球選手
社会人野球
大学進学

高校3年生は 演習中心の1年間

高校2年生終了時点でほぼ全ての高校課程(教科書内容)を修了します。
よって授業のほとんどが大学受験に向けた演習中心。日々の授業が大学入試に直結します。
さらに日々の演習授業に加えて右記の講習等をおこなっています。



「夏期講習」

7月最終週。8月第1週。そして夏期休暇を挟んで8月最終週の3期に分けて夏期講習をおこなっています。それぞれの講習は共通テスト対策から最難関の大学別演習まで幅広く開講し、自身の意思、レベル、志望校に合わせて選択することができます。



「個別大学対策」

高校3年では授業は午後4時に終了し、放課後にはそれぞれめざす大学に合わせた講習を自分で選択し受講することができます。最難関の大学向けの発展的な数学、理科、社会の演習や、個々の大学に応じた自由英作文、リスニング、小論文の講義などを開講しています。



「共通テスト対策」

12月末から1月中旬までは、授業はすべて共通テスト対策の演習をします。共通テスト本番を意識した試験時間やマークシートへの解答など実践的な演習で、校内で本番同様コンピュータ採点し、データを抽出、分析をおこないます。



「卒業後の対策」

本校の卒業式は共通テスト終了後の1月下旬におこなわれ、その後は授業時間に縛られず目標大学に向けた学習を自由にすることができます。多くの生徒が登校し、記述問題の添削や質問に訪れます。また希望に応じて個別に講義をおこなっています。

これらの講習や演習は全て無料で実施

各種の「模擬試験」も授業時間内で対応

対談 Dialogue



京都大学
経済学部
現役合格

岩本 元一先生
数学科

柿谷 七海さん
智辯学園和歌山中・高 卒業
6年一貫コース

岩本：柿谷さんとは中1の担任時代から高校卒業まで6年間の関わりになりましたね。

柿谷：はい。最初の印象は、真面目で堅そうなベテランの先生、って印象でした(笑)。

岩本：なるほど(笑)。先生から見たあなたの印象は、当時から一生懸命に勉強をしていたので、真面目にやっていた子だなと思っていました。しかし小学校と比べて中1の数学は、質も量も大変ではなかったですか？

柿谷：大変という印象はなかったです。とりあえず全部終わらせるっていうこなし作業ではなく、演習や補習も充実していて、質問に行ったらしっかりと答えてもらえるし、丁寧に対応してもらえたなぁと思います。

岩本：中高6年間は順風満帆ではなかったとは思いますが。私の記憶では高3の2学期くらいに元気がなかったときがありましたよね。

柿谷：よく分かりましたね！ ありました。解けない問題が続いたときかもしれないです。不安な時は一人で抱え込まないで誰かに話すようにしていました。喋ったら結構気が楽になったりするので。辛い悩みを相談したり、たわいもない会話で盛り上げられる友人や、親身になって話を聞いてくれる先生がたくさんいるので、良かったかなと思います。

岩本：休憩中や放課後も残って勉強したり、喋って楽しんでいる生徒達をよく目にします。

柿谷：学校の中でももちろんですが、通学途中の電車も意外と大切な時間なんですよ。同じ電車で一緒に登校しよう、という友達ができ。電車内では一緒に話をして、学校に着いてから勉強して授業に臨む、という形です。

岩本：私は授業が基盤で一番大切であるという考えはありますが、希望者が集まる補習をとても楽しみにしていました。君たちを楽しませるために、先生もそれな

りの準備をしていかないといけないので、大変でしたが、柿谷さんも熱心に補習に参加してくれましたよね。

柿谷：はい。テスト形式で補習が進んでいくのが、とても良かったです。数学って答えが出て、それだけで点数にならずに、問題から答えまで抜かりなく導き出す練習をすることができました。塾には行っていなかったんで、自分の書いた答案をすぐに見てもらって添削して戻してもらえる機会はありがたかったです。

岩本：さらに。高3の後半は、様々な問題集を取り入れてやりましたね。

柿谷：自分が問題を解いて解答を見るだけでは得られない視点や別解などに触れる機会になり、解答に書いていない方法を知ることができたりしたのが良かったです。補習自体の雰囲気もワイワイして楽しかったです(笑)

岩本：ワイワイ(笑)でも、それが、先ほどから出ているこの学校の雰囲気なんかな。一緒に頑張っていこう、っていうメン

バーが多かったし。補習をやっていて、先生も楽しかったです。意識が高い生徒達の集まりで大変は大変でした。君たちを楽しませながら、飽きさせないために、入念な準備が必要でしたので。では、最後に、智辯和歌山で夢を叶えたい人にメッセージをお願いします。

柿谷：「堅くて勉強ばかりの学校」というイメージを持つ人が多いと思います。でも実は勉強だけでなく、部活や課外活動、校外での活動などを熱心にやっている人が多いです。自分のやりたいことと両立させながら当たり前で勉強する、という生活を送ることができるので、勉強だけをやって、とにかくいい大学に入るんだ！というだけの学校ではないということを伝えたいです。入学したら、目標を同じくする友達や、自分の目標を引き上げてくれる友達と出会えるので、そういう環境は最高だと思います！

対談の全文はホームページでご覧いただけます。

2022年度 出身地域別生徒数

	中学 1年	中学 2年	中学 3年	高校 1年	高校 2年	高校 3年	計
和歌山市	112	102	103	131	108	116	672
海南市・海草郡	16	14	16	21	28	18	113
紀の川市・岩出市	22	36	28	22	33	30	171
橋本市・伊都郡	3	4	1	1	1	1	11
有田市・有田郡	4	15	7	18	17	12	73
御坊市・日高郡	4	9	8	12	10	13	56
田辺市・西牟婁郡	9	4	4	9	5	8	39
新宮市・東牟婁郡	0	0	0	1	0	1	2
大阪府	42	34	39	43	44	50	252
その他	2	2	0	6	7	4	21
合計	214	220	206	264	253	253	1410

Point

学びの

独自の学習スタイルで個々の成長を促す。

■習熟度別クラス編制

全学年習熟度別クラス編制をとっています。生徒一人ひとりの成長速度に合わせて、それぞれに合った授業内容を提供し、個々の能力の最大開発をめざしています。生徒は自分にあったペースで学習に取り組むことができるので、無理なく授業を受けることができます。中学5年(高校2年)からは文系・理系のコース選択をおこない、それぞれのコース内で習熟度別クラス編制をとっています。クラス内には同じ志を持った生徒がたくさんいるので、互いに切磋琢磨し、高め合っていくことができます。

組	中1	中2	中3	中4(高1)	組	中5(高2)	中6(高3)
A	S選抜クラス 合格者	AB組	A組	A組	A	AB組 〈理系〉	AB組 〈理系〉
B			BC組	BC組	B	CD組 〈理系〉	CD組 〈理系〉
C				総合選抜クラス 合格者	CDE組		
D	DE組	D					
E	編入1クラス	F				F組 〈文系〉	F組 〈文系〉

※習熟度別のクラス編制のイメージ図 クラスは年度ごとに再編制します。

■発展的 勉強会



放課後には、希望者を対象に「発展的勉強会」がおこなわれています。中学生は大学入試問題にチャレンジし、高校生は模試の過去問の演習などに取り組んでいます。生徒の学ぶ意欲を高めるために、勉強会で扱う問題選びには様々な工夫が施されています。また、演習でおこなった模試は全国での偏差値や順位を算出した結果が返されるので、常に全国レベルで自分の実力を把握し、緊張感を持って勉強に励むことができます。

■基礎学習支援



大学入試レベルの発展・応用内容に取り組むためには、その根幹となる基礎内容の定着が不可欠です。そのため、特に低学年での基礎学習を疎かにすることはあってはなりません。日々の授業内での小テストや放課後の補習など、個々の習熟度に合わせた方法で、基礎学習支援を徹底的におこないます。学習内容に不安のある状態を長引かせないよう、フォローアップの充実を図っています。

■勉強合宿

基本的な学習習慣や規則的な生活リズムがまだ身につけていない生徒数十名を対象に、中学1年生の3月末に高野山、中学2年生の8月末に貝塚でそれぞれ宿泊を伴う勉強合宿を実施しています。集団生活の中で、まずは個々の生活リズムを確立させながら中学生としての自立を図ります。学校や家庭とは異なる環境に身を置き、普段の生活への有り難さを再認識しながら感謝の気持ちを養います。学習面では、学業に対する自律を促し、英数国を中心とした教科の基礎的指導をおこなっています。この勉強合宿を通して、自主的に学習する方法を学びとり、意欲的に学習する姿勢を養います。

■選べる2つの学習環境



一つ目は授業内容の不明点を教員へ気軽に質問できる環境。職員室横に対応スペースを設け、質問に訪れた生徒が内容を深く理解できるまで、教員が何度でも教授します。二つ目は生徒が個人で学習に没頭できる環境。図書館には個別ブースを備えた机を完備し、静粛に保たれた室内で授業の予習・復習や自習課題に取り組むことができます。高校3年生には専用座席を設けており、自主学習に取り組む上で最良の環境を整えています。

■1人一台のタブレット



生徒全員が1台のタブレット(中学生は貸与、高校生は購入)を所持し、日々の学習に活用しています。探究活動をおこないプレゼンソフトで発表をおこなう、教員が生徒から意見を即時に収集・共有し、さらに考えを深めるなど、一人ひとりの能力を最大限に伸ばすためにICTの有効的な活用をめざしています。家庭学習においても生徒と教員がオンラインで双方向のやり取りが可能で、家庭学習の記録をもとに担任から学習のアドバイスを受けることもあります。

在校生 Voice



中学3年生
和田 翔栄

智辯和歌山では、たくさんの自然に囲まれた素晴らしい環境の中で落ち着いて勉強に励むことができます。先生達からのサポートはとても手厚く、たとえ苦しい教科があったとしても放課後には補習や勉強会などを開いてくれとても丁寧に対応してくれます。質問や文章の添削を依頼したときには、すぐに対応してくれ、とても分かりやすく教えてもらうことができ、安心して学習に取り組むことができます。勉強は決して楽ではありませんが、大学受験に向けてクラスメイトと共に努力していく事ができ、協力して学校生活を送れていると思います。



中学6年生
古川 泰士

同じ志望校を目指す仲間が何人もいる中で、互いに刺激を受けながら切磋琢磨し、時には励ましあいながら充実した生活を送っています。友人に教わることで、自分が教えることでより理解が深まり、学力の定着を図ることができています。智辯和歌山の先生方は本当に熱心に指導してくださり、授業も面白く興味をもつことができます。このような素晴らしい環境で過ごせることに感謝すると共に人とのつながりの有り難さを実感しています。残された一年間全力で努力を積み重ねていこうと思います。



中学5年生
編入コース出身
荒牧 ひかる

編入コース入学前、進度が速く、レベルの高い授業に対して不安を抱いていました。実際、授業に加えて予習・復習を確実におこなうことに必死でしたが、先生方の手厚い支えもあり、一つ一つ着実に学びを得ることができました。また授業だけでなく放課後や休み時間もクラスメイトと友に学習し切磋琢磨したことで絆が深まり、楽しいことも辛いことも一緒に乗り越えることができました。そのような仲間や先生方と充実感のある1年間を過ごし、自身の成長を実感することができています。

野球応援に対する想い

伊藤：女子は野球に対して興味を持っている子は多くはないのではと思って、そういうことがある中でチアリーダーとして女の子が頑張っている、野球に対して応援を送っている姿を見てもらって、私たちに憧れてもっと野球を好きになったりとか、全校応援に興味を持ってくれたりとか、そういう子たちが増えればなと思いながらチアをしていました。

田倉：野球はあまりプレイしたこともなく、野球に興味があるから応援団に入ったという訳ではないのです。完全に応援が好きだから、応援が楽しいから応援団に入りました。特にそれを強く感じたのが、中4の選抜高校野球で準優勝した大会ですね。創成館戦と東海大相模戦、乱打戦、



ギリギリの戦いを制して、劇的勝利という試合があって、その勝利の瞬間、アルプスがドッと湧く瞬間というのを肌で感じて、これはやっぱりすごいなと。

岡村：僕はブラスバンドで指揮をしていて、基本グラウンドは見えなかったので野球はほとんど見られなかったですね。時々応援団とアイコンタクトを取るのですが、何かその時に凄く一体になって応援しているような感覚がとてもあって、あの感覚は忘れられないですね。

文元：打席に立ったら正直もう応援の事を気にしていられないですが、ベンチとネクストサークルにいる時は、迫力が凄いですね…。僕の場合、緊張するほうなのでベンチにいる時も脚が震えていますが、ネクストに立って応援を聞いた瞬間に「おれ、いけるんじゃないかな」って思う瞬間が甲子園で何度もありました。僕たちの選抜から「ミラクルショット」もお披露目になって。

新曲ミラクルショット

岡村：ずっと曲を作って無くて…、文元君の代の時に1曲増やそうという話

あり、音源を探して編曲して出来たのがミラクルショットです。中4の秋に作りました。ミラクルショットは順位的に何番くらいですか。

文元：アフリカンシンフォニーが1位で、2位がジョックロックで、3位がシロクマですかね、僕は。王道が大好きな人間なので。ちなみにミラクルショットは4位でお願いします。ミラクルショットはもう第二のジョックロックって、野球部では本当に言ってたぐらい、本当に点を入れさせてもらいましたよ。あの曲は。

岡村：ありがとうございます。東海大相模戦でミラクルショットを演奏して、確か逆転して。あれがミラクルショットのデビューだったんですね。それで点が入らなかったら辛かったんで、安心したのを覚えていますね。

伊藤：チアの振りで言うジョックロックが一番大変ではあるんですけど、選抜で初めてのお披露目というところであって、ミラクルショットは気合いを入れて練習しました。振りも一から創りました。副リーダーと二人で練って、皆からも意見をもらいつつ、皆で創り上げた振りだったりするので、新しく楽しかったです。

野球応援の苦労話

岡村：野球応援っていったらブラバンは楽器運搬が結構大変なんですけど、楽器が重い中、ずっと歩いて持ち運ぶというのはしんどかったですね。あとは冷えピタを貼っている子も結構多かった。金管楽器などは特に熱くなるので、もう貼らないと触れないみたいなの。

伊藤：チアはやっぱりボンボンが重たいっていうのが…。重たいのも勿論そうなんですけど、持ちにくいっていうのもあって結構持ち手が特殊なので。かつ綺麗に回さなければいけないので練習も大変でした。あと、球場の段差がだいぶ狭いじゃないですか。普段練習している時って平面なので、段差を使うのが本番しかないってところも結構ぶっつけ本番的なところがあって、



そのあたりも結構苦労したポイントかなと思います。

田倉：応援団で一番つらいのは練習だと思うんですけど。型を踊ってしんどいっていうよりは、練習で腕立て伏せしてしんどいとか、限界まで声を出してしんどいとかが多いですね。方針としてしんどそうな顔をしないように。アルプスに立ったら毅然とした態度でいよう。その為にも練習が辛い。限界まで声出して応援するから、それがまた楽しいっていうのにも繋がるのかなとは思っています。

文元：応援をするっていうのがしんどくて、野球部と同じ熱意を持ってやってくれているのは聞いてました。6月の追い込み期間に聞こえてくる皆さんの練習している声を聞くと、自分たちが妥協していれば格好がつかないので。チアや応援団の練習の声が聞こえてくると追い込み練習の終わりが見えて、夏の大会が見えてくるので、それが凄くモチベーションになっていました。

智辯和歌山の全校応援とは？

文元：智辯和歌山といえば、全校応援をイメージする人も多いと思うので、

野球部と全校応援は完全に二個一というか。本当に何度も応援が救ってくれた。一緒に戦っていると感じながら大会には臨んでました。応援とプレイヤーではなくて、どちらもプレイヤーとして戦ってくれているという実感がありましたね。

田倉：応援団、チア、ブラバンを含めた智辯和歌山の生徒だけでなく、一般のお客さんの気持ちがどんどんチームに寄ってくると言うか、変わるんですよ。雰囲気が…。それでアルプス全体が一体になるというのが、高校野球の応援の魅力の一つだと思って、それを肌で感じられるっていう点においては、智辯和歌山の生徒だけでなく、何か特別な意味があるのかなと思います。皆を巻き込む応援ってのが一番。チア、応援団、ブラバン合わせても100人程の集団だけで応援しても…。アルプス全体を巻き込んでの方が大きな力にもなるとは思いますし、野球部の方にも声が届くと信じながら。僕はそこを一つの目標にして頑張ってた。

伊藤：智辯和歌山は先輩方からの伝統がとてもある学校と感じています。その伝統をしっかり受け継ぐのが一番大事なかなと。私たちチアも下の代に引き継いでいくということ



大事にしていました。またアルプスに立って、グラウンドに近い所で踊らせてもらった経験がありましたが、そういう経験は智辯和歌山に入らなければ出来なかったことだと思うし、チアに応募しないと出来なかった経験だと思えるので大切にしていきたいなと思います。

岡村：伝統って意味だったら、吹奏楽部に入って初めにもらう楽譜が、



野球応援の楽譜で。いきなり伝統の塊みたいな格好いいものを渡されて、本当にそこから音楽がスタートしたし、頑張ってる練習して、やっと甲子園で演奏できて、一体感が生まれて、こんなに音楽って楽しいんだ、みたいなものを教えてもらったのが野球応援でした。普段僕は演奏を聴いてもらう立場なんですけど、アルプススタンドでの演奏は、皆を引っ張る、一番前に立ってスタンドの皆をリードして、野球部の皆を応援しなきゃいけないという、その使命感も凄く貴重な経験でした。多分、他では味わえない智辯和歌山の野球応援だから味わえたと思います。

座談会の全文はホームページでご覧いただけます。

Chiben TALK 座談会

野球部・チアリーダー・応援団・ブラスバンド部によるスペシャルトーク!!



慶應義塾大学 環境情報学部 4年生

文元 洗成さん

智辯学園和歌山高校 卒業
スポーツコース
高校3年生では野球部主将
第90回選抜高等学校野球大会準優勝



慶應義塾大学 理工学部 4年生

伊藤 杏さん

智辯学園和歌山中・高 卒業
6年一貫コース
中学時代はバスケットボール部で主将
高校時代は第36代チアリーダー



東京大学 文科一類 2年生

田倉 拳太さん

智辯学園和歌山小・中・高 卒業
12年一貫コース
中学時代はサッカー部で主将
高校時代は第37代応援団長



広島大学医学部医学科 3年生

岡村 直樹さん

智辯学園和歌山小・中・高 卒業
12年一貫コース
中学校高等学校とブラスバンド部所属
高校2年生にはブラスバンド部部長

School Life

学校生活 & 施設紹介

快適な環境のもとで育まれる豊かな情操



●図書ゾーン



●創立10周年記念建学記念講堂



●文化ゾーン



●マルチビジョンルーム



●コンピュータ自学自習教室



●茶華道室



●体育館

その他の施設

- 多目的ホール
- 自習スペース
- 野球専用グラウンド
- など

a school day 生徒の一日



登校

7:15から図書館を利用でき、朝早くから登校して自習に励む生徒もいます。



読書時間

興味・関心のある分野の書籍を読み、幅広い教養を身に付けます。



読経

始業前、御真言御宝号をお唱えし、心を静め、決意を新たに1日のスタートをきります。



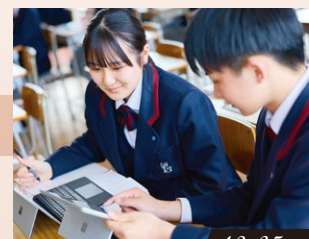
午前授業

日々の授業こそ学校生活の基本です。真剣勝負の時間が流れます。



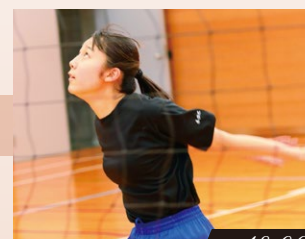
昼休み

愛情がたっぷり詰まったお弁当を友人たちと楽しくいただきます。



午後授業

タブレットを活用して探究活動にも取り組んでいます。



放課後

クラブ活動や補習授業の時間です。図書館の自習スペースで、受験勉強や予復習に取り組む生徒もいます。

校時表〔60分授業〕

読書	8:30～ 8:40
1限目	8:40～ 9:40
2限目	9:50～10:50
3限目	11:00～12:00
昼食	12:00～12:35
4限目	12:35～13:35
5限目	13:45～14:45
6限目	14:55～15:55

※クラスにより7限目(16:05～17:05)や補習授業がおこなわれます。

Uniform 制服紹介



体操服



補助バッグ(3WAY)



Event Calendar

年間行事

思い出の数々が未来の自分への力となる



入学式



臨海学校



球技大会



修学旅行(中3)



錬成会



林間学校



体育大会



修学旅行(中5)



オーストラリア短期留学



卒業式

4 April

- 入学式、始業式
- 新入生オリエンテーション(新入生)
- 錬成会(高1)
- 身体測定

5 May

- 母校訪問(新入生)
- 内科検診
- 中間考査
- 育友会総会
- 球技大会

6 June

- 学園創立記念日
- 歯科検診
- 音楽鑑賞会
- 入試説明会

7 July

- 学期末考査
- 林間、臨海学校(中学)
- 三者面談
- 留学生来校(アメリカ)
- 高校野球応援
- 韓国研修プログラム
- 入試説明会

8 August

- 留学生来校(韓国)
- 終業式
- 東大見学(中3)
- 貝塚合宿(中2)
- エンパワメントプログラム

9 September

- 始業式
- 地区懇談会
- 留学生来校(オーストラリア)
- 実力テスト

10 October

- 中間考査
- 文化祭
- 教育講演会
- 進学指導会
- 体育大会
- 修学旅行(中5)
- 修学旅行(中3)

11 November

- 実力テスト
- 卒業記念陶板作成
- 修学旅行(S2)

12 December

- 学期末考査
- 三者面談
- 終業式

1 January

- 始業式
- 入学試験(中学)
- 大学入学共通テスト
- 実力テスト
- 卒業式(高校)

2 February

- 入学試験(高校)
- 私立大学入試
- 国公立大学個別試験

3 March

- アメリカ短期留学(高1)
- オーストラリア短期留学(高1)
- 学年末考査
- 三者面談
- 終業式
- 高野山合宿(中1)
- 修学旅行(陸上競技部)
- 卒業式(中学)



文化祭



留学生来校(オーストラリア)



音楽鑑賞会



東大見学



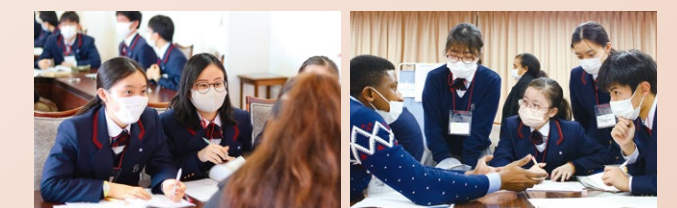
エンパワメントプログラム

英語でリーダーシップが取れる人材に

日々グローバル化が発展するに伴い、単なる英語力の向上だけでなく、グローバル社会において英語でリーダーシップを取り、異国のの人々と協同していく能力が日本の学生に求められています。本校では、英語による発信力を強化するため、5日間英語漬けの日々を送るエンパワメントプログラムを実施しています。日本人生徒6〜7名のグループごとに、日本の大学・大学院で学ぶ留学生が1名つき、グループディスカッションやプレゼンテーションをすべて英語でおこないます。外国人講師1名がファシリテーターとしてクラス全体をサポートし、参加者全員が一体となってプログラムに取り組んでいきます。

Student Voice

"I am going to talk about what I learned by joining "Empowerment Program". There are two things. First of all, it is important to have confidence. I was reluctant to speak in public before joining this project. However, after talking with the group leader and teammates for five days, I've become more and more confident than before. Second, I can broaden my horizon, because I heard a lot about the dreams of group leaders and why they study. These experiences will be of great help to my life in the future. I'll recommend you to join us."



Club Activities クラブ活動



野球部

第103回全国高校野球選手権大会 21年ぶり3度目の優勝!!

春・夏の甲子園大会出場、優勝をめざし、日々練習に取り組んでいます。学園の模範となる生徒として学園生活にも力を注ぎ、将来のリーダーとしての資質を磨いています。卒業後は、大学野球や、社会人野球・プロ野球で活躍する者もあり、多数のOBが様々なステージで活躍しています。

選抜高校 野球大会甲子園 (14回出場)	全国高校野球 選手権大会甲子園 (25回出場)	国民体育大会 高等学校硬式 野球出場 (9回出場)
▪ 優勝 1回 ▪ 準優勝 3回	▪ 優勝 3回 ▪ 準優勝 1回	▪ 優勝 1回



陸上競技部

女子が県大会優勝! 「全国高等学校駅伝競走大会」に 出場!

全国大会出場をめざす陸上競技部。
2021年12月開催の「女子第33回全国高等学校駅伝競走大会」に出場し京都の都大路を駆け抜けました。国公立大学へ進学する者、箱根駅伝をめざして関東の駅伝強豪校へ進学する者も在籍しており、今後も全国高等学校駅伝競走大会での活躍、また卒業生の活躍に期待が寄せられます。

- 男子 第70・71回 全国高等学校駅伝競走大会 出場
- 女子 第32・33回 全国高等学校駅伝競走大会 出場

仲間と切磋琢磨し積み上げる輝かしい日々

令和3年

夏の甲子園優勝日本一に!



「礼に始まり、礼に終わるのが高校野球だよな」

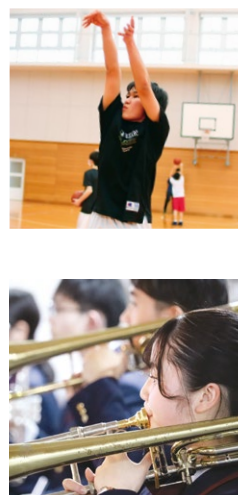
中谷仁監督(42)が選手にそんな話をしたのは7月。和歌山大会の決勝前日だった。「明日はうちが勝つのは間違いない」と選手に暗示をかけるように言った上で、「その後のことを考えようや」と問いかけたという。決勝まで勝ち上がってきた素晴らしいライバルに、敬意を表するにはどうすればいいか。あいさつのために整列しているのを待たせて、大喜びするのはどうなのだろうか。また、コロナの状況下で大会を開催してくれたことに感謝し、最後まで感染対策を徹底して密状態をつくらないことも大切ではないか。智辯和歌山の選手たちは話し合い、和歌山大会で優勝を決めても、派手に喜ばず、あいさつのために整列した。その姿勢を甲子園でも貫いた。ガッツポーズをしたり、抱き合ったりしたのは、校歌を斉唱した後だった。

朝日新聞デジタル 2021年9月25日付け



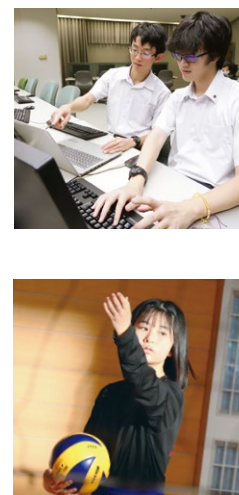
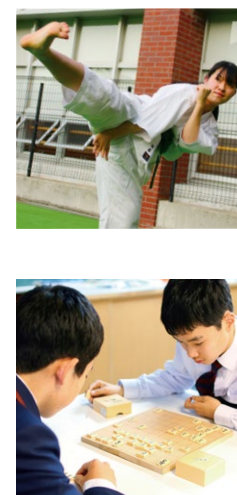
体育部

サッカー／バレーボール／陸上競技／卓球／バスケットボール／テニス／剣道／少林寺拳法



文化部

新聞／プラスバンド／美術
箏曲／囲碁将棋／歴史／
演劇／天文／放送／茶華道／写真／ESS／生物／書道／コンピュータ／
合唱／科学／競技かるた／文芸／クイズ研究会／数学研究会



Voice

「一期一会」の 精神が育まれ...

厳かなながらも優雅にお茶を点てる先輩の姿に魅了されて茶華道部に入部しました。稽古をするだけでなく、文化祭で生徒の皆さんをお茶会に招待したり、定期的に他校の皆さんと学生茶会をおこないます。さらに裏千家の先生が指導に来てくださり、興味深い話を聞かせてくれ大変勉強になります。このような活動を通じて「一期一会」の精神が育まれ、日々の学業だけでは感じることのできない、一瞬そのときの大切さや出会った人への感謝に気づくことができます。これからも自らを見つめ直しながら学業との両立を図りたいと思います。



茶華道部 部長
宮田 詩季